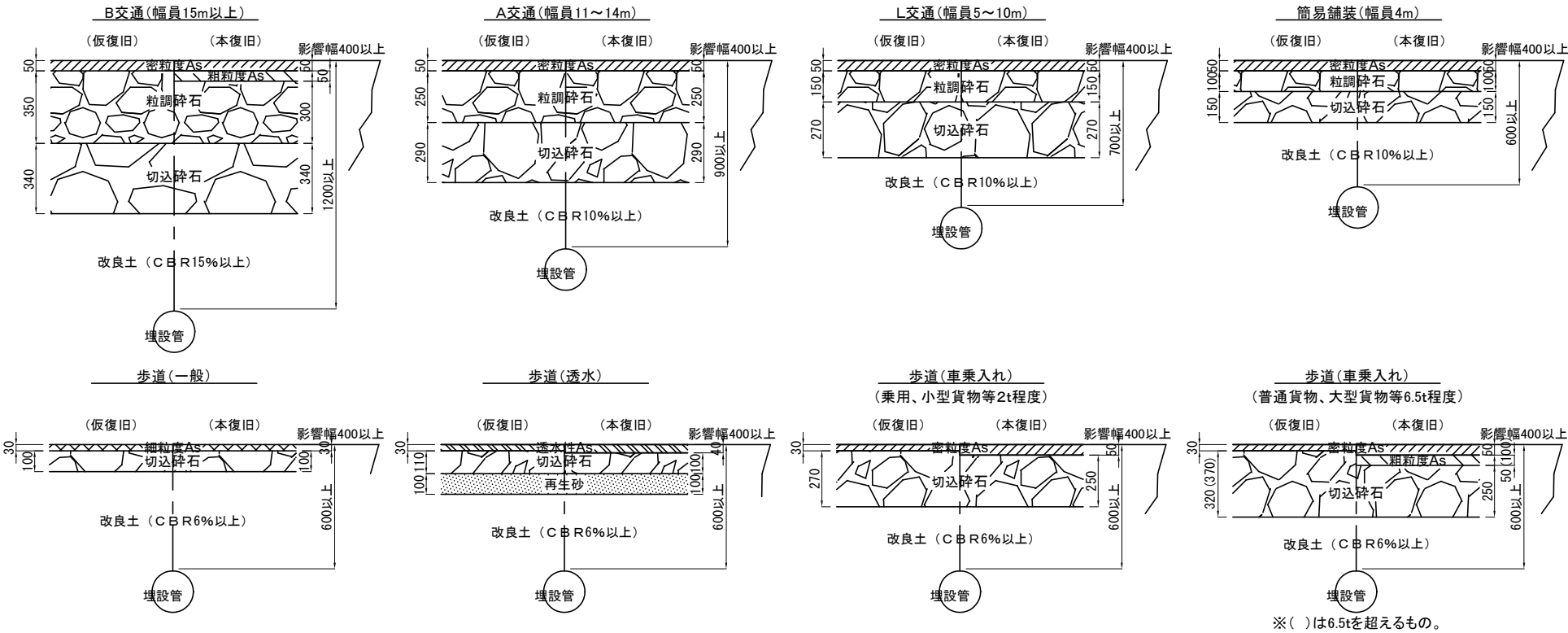


舗装復旧組成図

- 1.基本は、現状どおりに復旧すること。
- 2.各種別ごとに揚げた図のとおり順次、概ね15cmごとに埋め戻し、ランマー等の締固め機械で確実に転圧を行うこと。
- 3.仮復旧は合材舗装厚5cm(歩道は3～5cm)で仕上げ、一定期間(30日以上)自然転圧後、本復旧を行うこと。
- 4.合材(密粒・粗粒・細粒)、粒調碎石及び切込碎石については、再生材を使用すること。

※再生粒調碎石(RM-40)とし、入手が困難な場合は粒調碎石(M-40)とする。

※遮断層の砂は20cmを基本とし、原則として再生砂を用いること。



※()は6.5tを超えるもの。

工 事 名		取付管及び柵修繕（その2）			
図 面 番 号		3/4	図 面 製 作		令和8年5月
課長		課 補 長 佐		係 長	設計者
蕨市都市整備部下水道課					